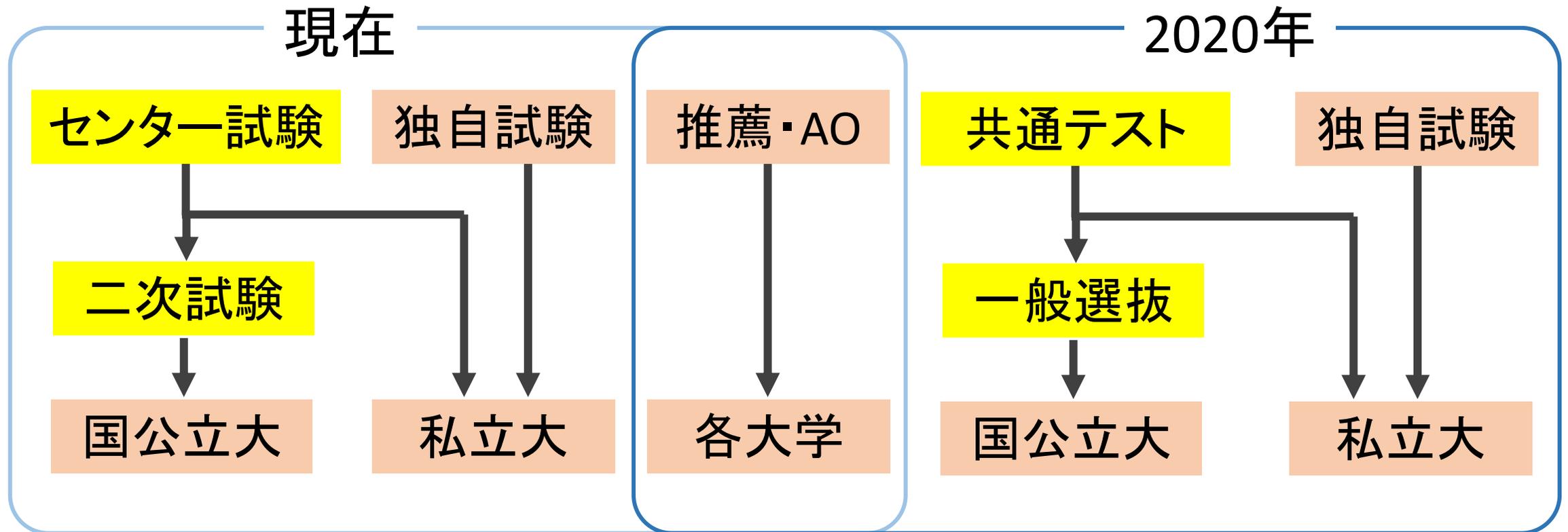


大学入試の今とこれから

□現在の大学入試システム

□これからの大学入試改革

大学入試システムの変更



2020年 大学入試改革 一言で

□ センター試験**廃止**

➤ 共通テストの**導入**

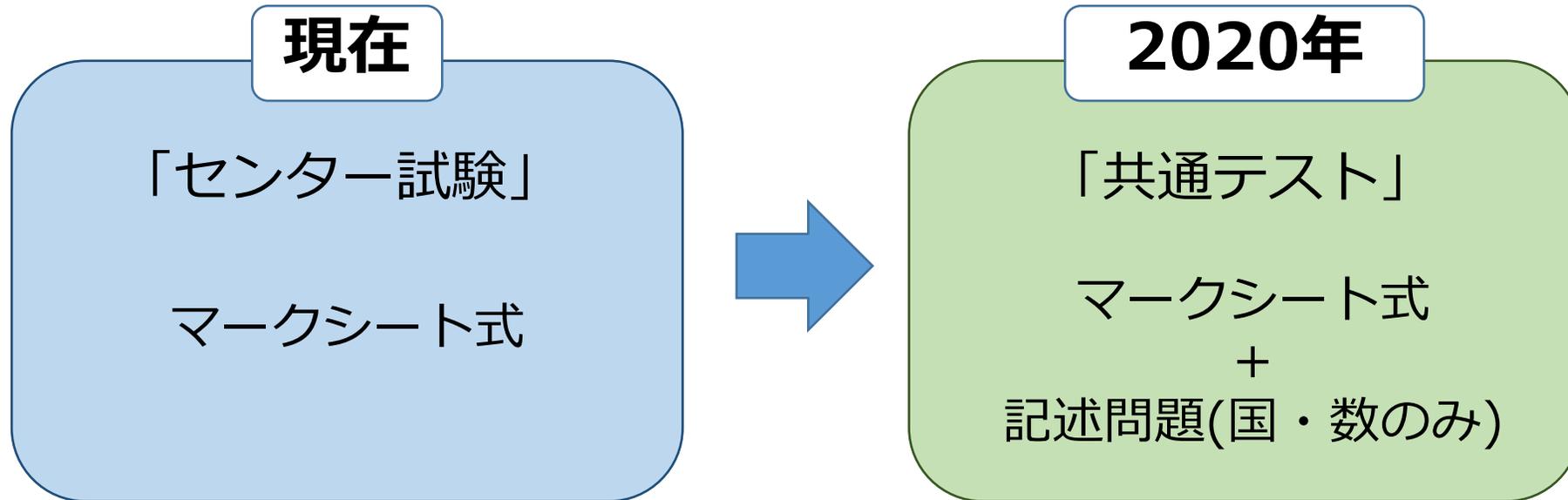
□ 国公立大学が各校で行う「二次試験」**廃止**

➤ 「一般選抜」へ**変更**

□ 推薦入試の**変更**

共通テストとは

□ センター試験の代わりに行われる入試試験



共通テストとはどんな問題(国語)

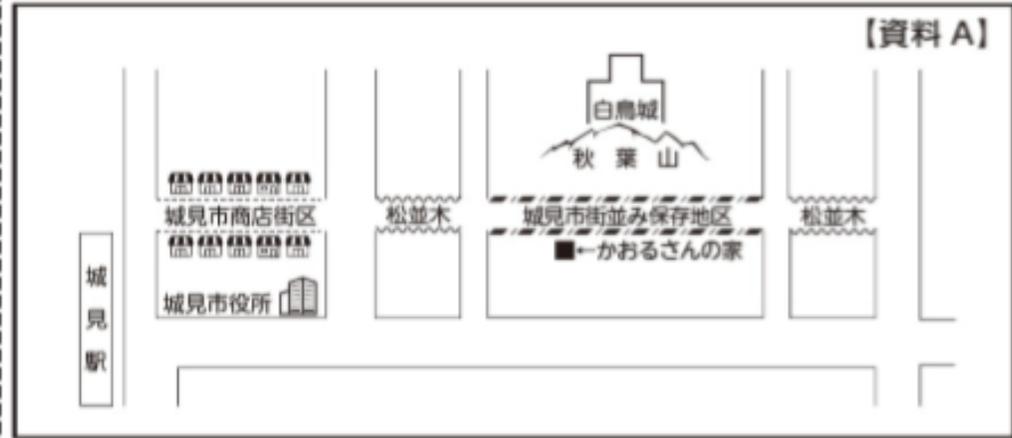
- 一つの大問で出題されるのは
記述式問題とマークシート式問題のどちらかのみ
- 記述式問題は80～120文字程度 × 3問
 - 自分の考えではなく
何らかの条件に沿った上での論理的な記述が求められる

共通テスト（国語 問題例1）

モデル問題例1

姉「住民対象の説明会から帰ってきた父に「お疲れさま…説明会、どうだった？」
父「ああ、これ、資料だよ。」「資料B」を姉に渡す…最近、うちの周りもそうだけど、空き家が多くなってきたよね。この間も、少し向こうの空き家の裏口のガキが壊されたりしたそうだけど、このままだと治安の面が不安だ。それが取り壊されても、その跡地に「街並み保存地区」っていう名前にふさわしくない建物が建てられてしまうかもしれない。地元企業がまちづくりの提案をしているという話も出てくるしね。そこで市としては、「ここでガイドラインを示して景観を守る」として、この一帯を観光資源にしていきたいという計画らしいわ。つまり、「石三島を狙った訳さ。」
姉「なるほどね。それで、うちの周りはどうなるの？」
父「うちの前の道路、『ゆとりある歩行空間を確保』っていう話だったから、電柱を移動させるか、電線を埋設するかなるんだらうけど、狭いままだったら『ここは変わりないな。』
姉「我が家の外壁を塗り直そうかって時は、その費用は市が負担してくれるの？」
父「多分、それはないんじゃないか。市の予算は、公共の環境整備に使うだろう。」
姉「あれ、そうなの？…」と、ころでお父さんは、このガイドラインの導入について、どう思っているの？」
父「私は反対だよ。住民の負担が大きすぎるね。外壁の塗装も建物の改築も、すべて周辺の景観に配慮した上で、適切な対応を自己負担で考えなければいけない。これじゃあ、引越した方が気が楽だ。かえって空き家を増やすだけだと思っちゃう。」
姉「でも、今のままだと、『ここはどんどん衰退していくだけだよ。』住民がいなくなると、この街の文化や歴史の一部が途絶えてしまうよね。」「の辺って、道路も狭いし、家も古いけど、この街並み、私は結構好きだな。だから、マイナスだと思ってることでも、逆にこの街の魅力にしたら、観光客にPRすることもできるんじゃないかな。街並みを整備して、地域の魅力づくり成功したら、『ここから出て行く人が少なくなると、空き家も減るよ。そうしたら、この街は守られるよね。』
父「それは希望的な推測だし、感情論に通きないね。実際問題として、ガイドラインの通り、古い街並みを残すとしたら、家を改築する時に、デザイン料にせよ材料費にせよ、通常以上の自己負担が必要になる。これじゃ、地域住民の同意は得られないよ。」
姉「私は、ある程度の住民の自己負担は必要だと思う。『こういう地域づくりって、行政に任せっぱなしにしたままで、私たち地域住民は受け身でいいのかわからない。』ガイドラインには広告や看板の色彩のことも書いてあるけど、これからは、自然環境も含めて、そうした住環境も大事にしないとね。確かに色々と制約があるし、お金もかかるけど、『地域を守り、地域の魅力を作っていくのは、他でもない私たち自身なんだ』っていう意識を持って私たちの生まれ育ったこの街を守っていくためには、ある程度の自己負担も必要だよ。」
父「私も、すべて行政任せじゃあばいばいとは思ってないよ。だけど、個人の家の庭に手を入れることは、本質的にその人の自由意志だし、住民の利便性を考えた道路整備は間違いない行政の仕事だ。ところがガイドラインに従うと、古い家と思うように直すこともできないし、狭い道もそのまま使うという不自由を、住民に強いることになる。現実的に発生する問題から目をそらして、感情論で地域づくりを語っても、そんなものは絵に描いた餅に通きないよ。」「じゃあ、このまま何もなくていいの？街がさびれていく様子を、ただ黙って見てらっしゃるの？」

モデル問題例1



かおるさんの家は、【資料A】の「城見市街並み保存地区」に面している、伝統的な外観を保った建物である。城見市が作成した景観保護に関する【資料B】「城見市『街並み保存地区』景観保護ガイドラインのあらまし」と、かおるさんの父と姉の会話を読み、後の問い（問1～4）に答えよ。

共通テスト(国語 問題例2)

モデル問題例1

問1 会話文中の傍線部「一石二鳥」とは、この場合街並み保存地区が何によってどうなることを指すか、「一石」と「二鳥」の内容がわかるように四〇字以内で答えよ(ただし、句読点を含む)。

問2 ある会社が、「街並み保存地区」の活性化に向けた提案書を城見市に提出した。次の文章はその「提案書の要旨」である。これに対して、城見市は、ガイドラインに従って計画の一部を修正するよう、その会社に求めた。どの部分をどのように修正することを求めたと考えられるか、三十五字以内で述べよ(ただし、句読点を含む)。

【提案書の要旨】
複数の空き家が連続して並んでいる場所を再利用した商業施設を作りたい。古くて味わいのある民家を最大限活用したカフェ、洋服屋、本屋、雑貨屋、美容院などを総合的にプロデュースすることで、「一度は行ってみたい」まちづくりに貢献したい。初めて訪れる観光客にも親切なように、目につきやすい色の看板を数多く配置し、行きたい店をすぐに探せる配慮をする。また、住民にも利便性の高い店の誘致を進める。

問3 会話文から読み取ることができ、父と姉の「景観保護ガイドライン」の導入についての議論の対立点を、「」の是非。「」という文末で終わるように二〇字以内で述べよ(ただし、読点を含む)。

問4 父と姉の会話を聞いて、改めてガイドラインを読んだかおるさんは、姉に賛成する立場で姉の意見を補うことにした。かおるさんほどのような意見を述べたと考えられるか、次の条件に従って述べよ(ただし、句読点を含む)。

条件1 全体を二文でまとめ、合計八〇字以上、一一〇字以内で述べる。なお、会話体にしなくてよい。

条件2 一文目に、「ガイドラインの基本的な考え方」と、姉の意見が一致している点を簡潔に示すこと。

条件3 二文目に、「経済的負担」を軽減する方法について述べること。

条件4 条件2・条件3について、それぞれの根拠となる記述を【資料B】「城見市『街並み保存地区』景観保護ガイドラインのあらまし」から引用し、その部分を「」で示すこと。なお、文中では「ガイドライン」と省略してよい。

<正答例>

問1 景観を守るガイドラインによって、治安が維持され観光資源として活用されること。(38字)

問2 看板は目につきやすい色ではなく、伝統的建築物と調和した色彩にすること。(35字)

問3 例① 個人の自由を制限し、自己負担を求めること(の是非。)(20字)

例② 自己負担や制限を受け入れて進めること(の是非。)(18字)

問4 姉の意見は、「全ての人々」が「意識の向上」を図り、「景観を将来の世代に引き継ぐ」というガイドラインの考え方と一致している。また、方針に「景観を保護するために必要な予算があれば、その計上を検討」とあるので、補助が受けられる可能性がある。(119字)

共通テストはどんな問題(数学)

- 一つの大問で
記述式問題とマークシート式問題の両方が出題予定
- 設問から条件を正しく読み取り、理解する力が必要
- センター試験より難易度はかなり高い
 - ▶ 時間配分に要注意

共通テスト(数学 問題例)

モデル問題例4

[1] 花子さんと太郎さんは、次の記事を読みながら会話をしている。

＝公園整備計画＝ 広場の大きさどうする？

〇〇市の旧県営野球場跡地に整備される県営緑地公園（仮称）の整備内容について、緑地公園計画推進委員会は15日、公園のメイン広場に地元が生んだ武将△△△△の銅像を建てる案を発表した。県民への憩いの場を提供するとともに、観光客の誘致にも力を入れたい考え。

ある委員は、「銅像の設置にあたっては、銅像と台座の高さはどの程度がよいのか、観光客にとって銅像を最も見やすくするためには、メイン広場の広さはどのくらいあればよいのか、などについて、委員の間でも様々な意見があるため、今後、実寸大の模型などを使って検討したい」と話した。



(写真はイメージ)

花子：銅像と台座の高さや、広場の大きさを決めるのも難しそうね。

太郎：でも、近づけば大きく見えて、遠ざかれば小さく見えるというだけでしょ。

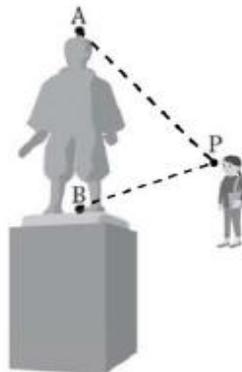
花子：写真を撮るとき、像からどのくらいの距離で撮れば、銅像を見込む角を大きくできるかしら。

見込む角とは、右図のように、銅像の上端 A と下端 B と見る人の目の位置 P によってできる $\angle APB$ のことである。

二人は、銅像を見込む角について、次の二つのことを仮定して考えることにした。

- ・地面は水平であり、直線 AB は地面に対して垂直である。
- ・どの位置からも常に銅像全体は見える。

次の各問いに答えよ。なお、必要に応じて 10 ページの三角比の表を用いてもよい。



35

モデル問題例4

- (1) 銅像の真正面に立ち、銅像の真下から 12 m 離れた位置から、高さ 1.5 m の台座に乗せた高さ 4 m の銅像を見る。このとき、目の高さが 1.5 m の花子さんの銅像を見込む角として最も近いものを、次の ①～⑩ のうちから一つ選べ。 ア

- ① 4° ② 6° ③ 8° ④ 10° ⑤ 12°
 ⑥ 14° ⑦ 16° ⑧ 18° ⑨ 20° ⑩ 22°

- (2) 銅像に近づいたり離れたりとすると、見込む角の大きさは変化する。見込む角が最大になるときの、見る人の足元の位置を「ベストスポット」とよぶこととする。この「ベストスポット」について、太郎さんは次のように考えた。

【太郎さんの考え】

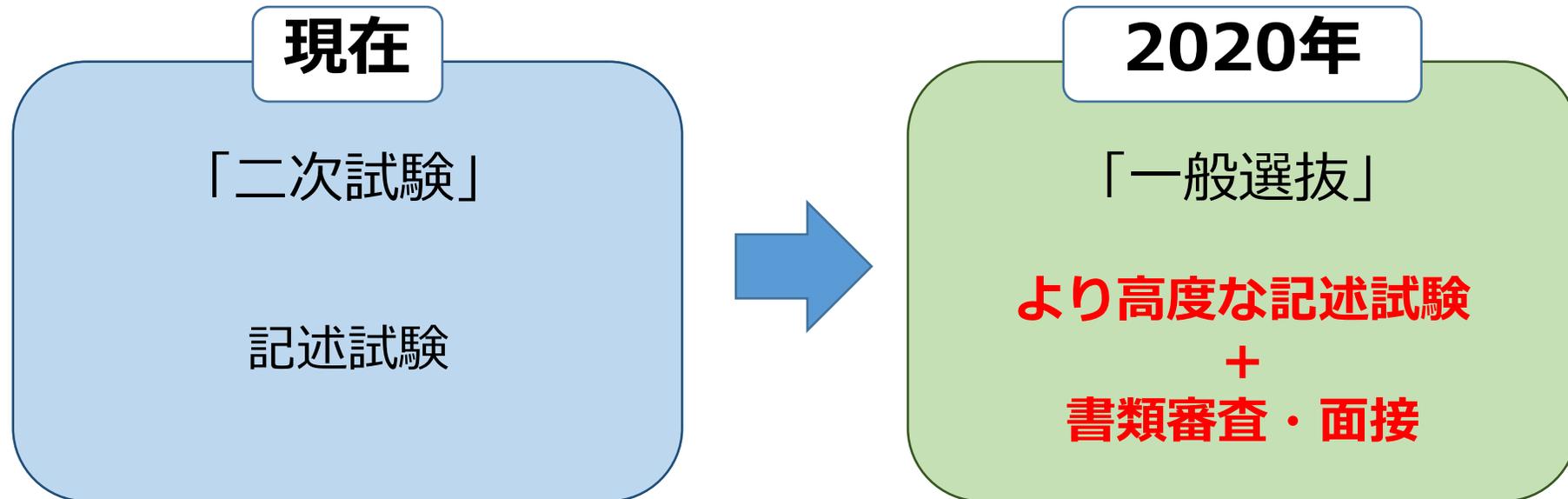
3点 A, B, P を通る円の半径を R とすると、AB の長さは常に一定であることから、 $\angle APB$ が鋭角ならば、 $\angle APB$ が最大となるのは、 R が最小のときである。

- (i) $\angle APB$ が鋭角であることを確かめる方法を、 $\triangle APB$ の 3 辺の長さ AB, AP, BP についての式を用いて説明せよ。解答は、解答欄 (あ) に記述せよ。

「二次試験」の変更点

□二次試験とは

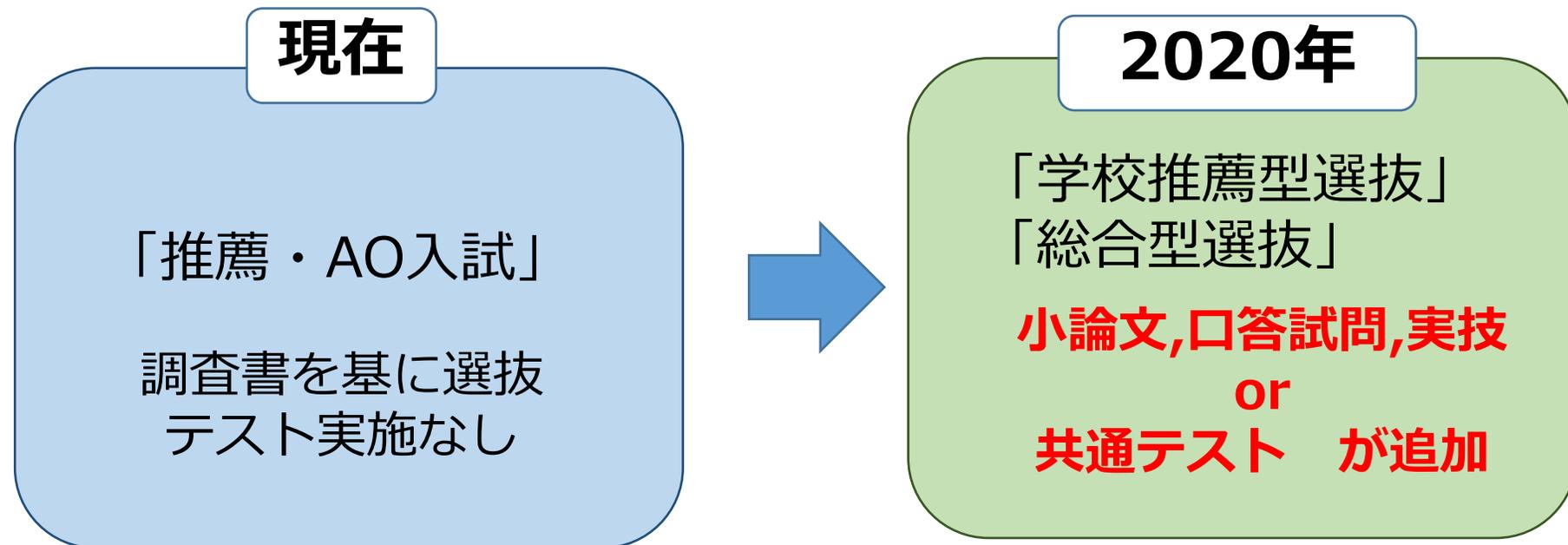
- 国公立大学が独自に行う個別試験のこと
- 2020年からは「一般選抜」へ名称変更



「推薦・AO入試」の変更点

□ 推薦・AO入試とは

- 大学の出願条件を満たし、
出身高校の推薦を受けて出願する入試形態
- AO入試はその限りではない



【調査書】の変更点

□調査書とは

- 高校が生徒の成績・個性・多様な学習・活動の履歴を記入
- 大学へ提出後、合否判定に利用

◎表裏の両面1枚の制限が撤廃され、
記載できる実績がなければ、少なさが目立つことに

英語4技能

□英語は、外部英語試験の活用

- ・英検
- ・TOEIC
- ・TOEFL iBT
- ・IELTS
- ・GTEC
- ・TEAP 等

「読む」「聞く」 ⇒ 「書く」「話す」も追加

□現在も活用中

▶ 指定スコア以上で

二次試験免除、センター試験満点とみなす 等

必要な能力1 ※所見

□使える英語、英語4技能

- 高3の1学期中に英検2級レベル
- 高1の3学期中に準2級レベル
- 英語ができないとアウト！に近い

□センター試験レベルの知識は必要

- 「知識不要」と、いうことではない。

必要な能力2 ※所見

□プレゼンテーション能力

- 自分の意見を言える、論理的な思考力がある

□探求型学習、調べ学習ができる

- 受け身ではダメ

□日常の出来事、時事的なことへの理解

- 新聞をよく読む等

必要な能力3 ※所見

□ エリートの定義を変えつつある

- 自己表現が上手い、リーダーシップがある等、
ペーパーで測れない能力も評価

□ 早期の目的意識は必須

- ペーパーだけ優秀でも目的意識がない子は不利
- 職業、進路への早い段階での興味、調査は必須

必要な能力4 ※宇佐美案

□新聞を読む。興味を持った記事に対して

- なぜか？を考える。⇒**思考力**
- 原因は～～ではないだろうか？仮説⇒**論理力**
- 実際どうなのだろうか？調べる⇒**探求力**
- 結果、～～だから、・・・なのだ⇒**論理力、深い考察**
- それをまとめて発表する⇒**プレゼン力**
- 発表する物を英語で書いてみる⇒**英語力**